

2018年度 子ども体験教室オリジナル「評価基準」

子ども体験教室では、各コースにおいて設定した「身につけてほしい3つの力」を育てていくための評価基準を設定しました。一年間の活動は、評価基準をもとに、プログラム構成をしています。

活動終了後に各家庭にお届けするカウンセリングカードも、この評価基準を軸として、書かせていただきます。

これは、「できた・できなかった」という評価をするためのものではなく、各コースの「身につけてほしい3つの力」が、活動を通してどのように発揮されたのか、成長が見られたのかを可視化するための項目です。可視化することにより、次の活動に向けての一人ひとりのステップがわかりやすくなり、より一年間の成長を積み重ねやすくなります。

本評価基準だけでは、表すことのできない成長も大いにありますが、この評価基準も一つの軸としながら保護者のみなさまと、お子さまの成長を一年間見守り、後押ししていきたいという想いで作成しました。

		アウトフィッター／自然や人との関わりの中で人生を前向きに生きている人				
【五年生～アコース】	A		どのような状況においても、仲間を巻き込みながら前向きに、建設的な意見交換を通して、課題を解決することができる。	活動やふりかえりを通して、次なるチャレンジ（自分のCゾーン※から踏み出す一歩）のための目標設定をすることができる。	身につけた知識やスキルを仲間とともに活用し、課題を解決することができる。	アウトフィッター／自然や人との関わりの中で人生を前向きに生きている人
	B		どのような状況においても、前向きに意見交換をしながら、課題を解決しようとする事ができる。	Cゾーン※から一歩踏み出し、自ら新しいことや苦手だと思うことにチャレンジすることができる。 ※Cゾーン（自分が安心していられる環境）	知識やスキルを身につけ、自ら活用して課題を解決することができる。	
	C		目標に向かって問題点を見つけ、自らの考えを元に行動を組み立て、課題を解決することができる。	活動やふりかえりを通して、自分の強みを発揮したり表現したりすることができる。	知識やスキルを身につけ、自ら実践することができる。	
	D		目標に向かって、自らの考えを元に行動を組み立て、課題を解決しようとする事ができる。	活動やふりかえりを通して、自分の強みや弱みに気づくことができる。	知識やスキルを意欲的に習得しようとする姿勢が見られる。	
【三年生～イコース】	A	目標達成に向けて、グループの仲間の長所や得意なことを理解して取り組むことができる。	目標達成に向けて、課題や問題点に気づき、解決に向けての道筋や方法を考え取り組むことができる。	自分の長所や得意なことを活かし、グループに対して適切なリーダーシップやフォローシップを発揮することができる。		
	B	目標達成に向けて、グループの仲間と意見を交わしながら取り組むことができる。	自分たちで目標を設定し、達成に向けての道筋や方法を考え取り組むことができる。	自分の長所や得意なことに気づき、グループ活動に活かすことができる。		
	C	目標達成に向けて、グループの中で役割をもって取り組むことができる。	自分たちで目標を設定し、意欲をもって取り組むことができる。	自分の意見をグループの仲間に伝えることができる。		
	D	目標達成に向けて、グループの仲間と一緒に取り組むことができる。	与えられた目標を達成することに向けて、意欲をもって取り組むことができる。	自分の意見や考えを持って取り組むことができる。		
【一年生～エコース】	A	自分の感想や意見を伝えたり、他の仲間の感想や意見を聞いたりしながらグループの仲間と協働して活動に取り組むことができる。	活動内容を理解し、自分の考えやアイデアを加えて実施することができる。	活動内容に対して、伝えられたことをヒントにグループでの解決策や計画を考えることができる。		
	B	グループの仲間に対して、自分の感想や意見を伝えながら活動に取り組むことができる。	活動内容を理解し、自分の考えやアイデアを加えてやってみようとする事ができる。	活動内容に対して、伝えられたことをヒントに解決策や計画を考えることができる。		
	C	グループの仲間と相互に関わり合いながら活動に参加できる。	活動内容を理解し、自分でやってみようとする事ができる。	活動において、伝えられたことに対して意見や感想などを考えることができる。		
	D	グループの仲間と一緒に活動に参加できる。	活動に対して、自分でやってみようとする事ができる。	活動において、伝えられたことを理解しようとする事ができる。		
【年中～長コース】	A	プログラム外の時間でも主体的に新たな遊びを展開できる。	グループのお友だちと相互に関わり合いながら活動できる。	活動に関する題材※を使い、自分の思考を表現し、それを人に伝えることができる。		
	B	プログラムの中で新たな遊びを展開できる。	班付キャンプカウンセラーを含まず、グループのお友だちと一緒に活動できる。	活動に関する題材※を使い、自分の思考（考え、想像、工夫）を表現することができる。		
	C	自分の興味があることを見つけ、活動を楽しむことができる。	班付キャンプカウンセラーが見守る中で、グループのお友だちと活動できる。	活動に関する題材※を使うことができる。		
	D	親元を離れて活動に参加することができる。	班付キャンプカウンセラーと一緒に活動できる。	活動に関する題材※に興味を持つことができる。 ※題材（自然、道具、設定/お話、ストーリー）		
身につけてほしい力	挑戦力			どんな状況でも前向きに挑む力	自分の可能性に気づく力	知識スキルを活用する力
	行動力		仲間と協力する力	自ら解決する力	個を発揮する力	
	できる力		仲間とやってみようとする力	自分でやってみようとする力	自分で考える力	
	あそび力	楽しくあそぶ力	集団であそぶ力	創意工夫してあそぶ力		

～参考～

文部科学省 子どもの発達段階の課題 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/053/gaiyou/attach/1286156.htm

幼保連携型認定こども園教育・保育要領 <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/law/kodomo3houan/pdf/seisyousei/h260430/c1-2-honbun.pdf>

小学校学習指導要領 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/

中学校学習指導要領 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/chu/

